

第19回「URUZO！」WG 議事録

日時:2019年8月23日 19:00~21:00 場所:ふれあい歯科ごとう

出席:五島先生(ふれあい歯科ごとう)、稲山様(翔舞会)

藤崎(日本介護食品協議会)、石場(明治)、鈴木(ヤヨイサンフーズ)、三好(アサヒグループ食品)、木田(マルハニチロ)、的場(ハウス食品)(敬称略)

議事録作成: ハウス食品 → アサヒグループ食品 → マルハニチロ → ヤヨイサンフーズ → 明治

■試食スクリーニングテスト(せんべいテスト)状況について

●前々回からの状況

- ・テストのN数をもっと増やして相関性を確認していく。
- ・既往歴のある方や咀嚼レベルの低い方へのテスト実施。

●状況

- ・施設にテストを依頼する場合、医師や家族などの許可を得なければならず、実施しづらい状況。
- ・咀嚼レベルが低く、介護度が高い方ほど、テスト許可を得ることが困難(安全性に対する懸念)。
- ・テストをする場合は、施設より在宅の方がやりやすいため訪問で実施した方がよい。
 - 五島先生にもテストを実施して頂く。栄養士だけではなく、歯科衛生士にも協力依頼(五島先生)。
 - 板垣先生にも引き続きお願いする。

●UDF サンプルと調査フォームを五島先生に送付済。

→フォーラムも控えている為、まだ未実施。今後も継続してテストを実施していく。

■対象者に対するUDF商品への誘導方法について

→せんべいテストのN集めには時間を要するため、並行して審議できるテーマを検討することとした。

- ・「UDFコンシェルジュ」のような認定制度を作り、訪問栄養士など専門職への啓発検討。
- ・以前、チェーンドラッグストア協会が「スマイルケア食コンシェルジュ」という認定制度を検討し推進した経緯があり、その当時の資料を確認。

<当日の意見>

- ・資料をどのように活用していくのかは、事前に議論をして作成した方がよい。
- ・訪問している管理栄養士が少ない。UDFに対しての知識も余りない方が多い。どんな知識が必要かは、板垣先生、他管理栄養士の方々にヒアリングしながらテキストを作る。
- ・認定制にするなら、テストがあった方がよい。
- ・訪問管理栄養士さんよりも病院の管理栄養士さんや、退院調整看護師(退院セット)に入り込んだ方が退院時の情報発信が多い為、病院の管理栄養士さんと組んで検討したらどうか(JR東京総合病院 管理栄養士 南様に相談等)
- ・病院施設課題:給食がある為、予算もあり、UDFは使いづらい。在宅課題:情報が浸透せず、周知徹底が困難。
- ・病院に資料とサンプルがあり、退院時に案内してもらえ、または退院セットに入れてもらう等すると広まるか?
- ・病院の栄養士・事務長・看護長などにアプローチすると病院内で広まりやすい。
- ・栄養指導が入っていない在宅を攻めるならケアマネ等を対象にしてはどうか? ケアマネは保険適用外をやりたがらない。栄養士&ケアマネ両方を分かっている方に聞いたらどうか?
- ・情報源が散在しているので、ポイントになる方をセレクトしてヒアリングしてみる。現場の金銭感覚や、どういう購入状態だったら買うのか?
- ・病院退院時に、状態が確認でき、適応できるUDF情報とサンプルがあればよい。

- ・UDFが良い、どうやったら使えるのかみたいな資料があれば、まずはふれあい歯科ごとに置いて反応をみても良い。18年タベマチフォーラムで作成した資料を焼き直ししたらどうか？
 - 18年タベマチ焼き直し資料(簡略バージョン)300枚を作成。
 - サンプル請求先(日本介護食品協議会、9月~2ヶ月間と期日決め)。発送は製品1個をメーカーから発送する。
 - ごとう通信が月1日発行するので9月1日発行に入れられないか？
 - 的場で8枚にまとめて27日(火)までに送付。ヤヨイサンフーズは冷凍製品しかないので対象外とし、明治・アサヒグループ食品・マルハニチロ・ハウス食品の4社のレシピを盛り込んで、8枚にまとめる。
 - アサヒ:鶏クリーム豆腐、明治:メイバランスコーン、マルハニチロ:トマト、ハウス:カレーの4レシピとする。
- ・今年のタベマチフォーラムでも18年『UDFのアレンジレシピ資料(今年のタベマチ資料)』300部配布。
- ・食支援サポーターに入ってUDFマスター制度が作れないか？(講演一単位(30分程度)に入れていただく。認定書、バッジ・リング等認定グッズなど作成したらどうか)。五島先生より食支援サポーターリーダーの森岡さんにお伝え頂く。
- ・配食サービスは献立になっているが、UDFは1品でしかないのが、簡便さでは配食サービスには勝てないが、食事を全部作っている患者さんには1品簡便に作れて飽きがこない。配食は軟菜食レベルで、重度の方向けの製品はまだない。配食サービスもUDFで展開すると在宅でUDFがもっと普及できるのではないか？ベネッセはUDF製品を集めて弁当にしている。

■次回開催予定

2019年9月30日(月) 19時 @ふれあい歯科ごとう

テーマ:病院でどんな情報があれば在宅でUDFが普及していくのか?議論。

JR東京総合病院の管理栄養士 南様のご都合が合えば打合せに入って頂く(五島先生より打診→参加可)。

議事録作成者 ハウス食品(株) 的場美紀子
議事録確認者 URUZO!